

第3回 SSH 講演会

昨年度から SSH 講演会を行うことになり、第3回目を12月3日(水)に実施しました。年3回、生徒の主体的な学習を支援する取組ですが、今回は生徒の探究的な学びや進路選択の一助となるような7つの講演を企画しました。その様子や受講した生徒の感想を紹介します。

- ① 講演名：「2050年持続可能な社会のための工学研究と電池の担う役割」
講 師：筑波大学 理工学群工学システム学類 秋元 祐太朗 様

- ② 講演名：「金属資源講話 金属材料のミクロ組織制御と塑性加工」
講 師：独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構 鈴木 徹 様



講演①の様子



講演②の様子

- ③ 講演名：「アスリートのからだづくりプログラム—Aim for best performance—」
講 師：共愛学園前橋国際大学短期大学部 永井 真紀 様

- ④ 講演名：「意思決定科学への招待～選択肢の多少に注目した進路選択問題へのアプローチ～」
講 師：群馬大学アドミッションセンター 富山 慶典 様



講演③の様子



講演④の様子

- ⑤ 講演名：「まちづくりとデータで未来を描く～前橋から考える地域の魅力～」
講 師：前橋市役所 未来創造部 江ノ浦 合位子 様

- ⑥ 講演名：「量子の基礎から量子コンピュータの最先端まで」
講 師：国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 高崎量子技術基盤研究所 大門 俊介 様



講演⑤の様子



講演⑥の様子

- ⑦ 講座名：「群馬大学医学部医学科について知る」(キャリアメディカル)
講 師：群馬大学医学部3年生3名



講演⑦の様子

生徒感想

・これからの社会におけるエネルギーの在り方や、「理学」と「工学」には具体的にどういった違いがあるのかを改めて考えることができた。

・理学と工学の違いについての話がとても面白かった。学んだことをどう今後や社会に活かしていくかという工学的な思考という観点は、僕は大事にしていきたいと思うし、大学での学びでの必要だと思った。

・高校で習う機会のなかった地学のことを少し知れた気がした。今まで考えもしなかった鉱物についての仕事の話を聞けて、興味の幅が広がった。

・アスリートに必要な体作りや食事管理、体の分析など、今回の講演を通して学んだことを生かして、これから自分の競技生活を考えて、それに応じた体づくりができるようにならうと感じた。

・意思決定科学という聞きなれない分野だったが、ご講演を聞いていたるなかで、自分たちにとって関わりが深いものだということが分かった。意思決定の中では選択肢が多いことが必ずしもメリットとはならないというお話を聞いて、自分の生活の中でもそう思う場面があり、とても納得した。

・前橋をいつもとは違う視点で捉えることができた。キャッチコピーを考えるのは少し難しかったがとても楽しい機会だった。

・量子というものを自分には難しいと思って今まで触れてこようとしていなかったのですが、今回の講習で基礎から活用の仕方までとてもわかりやすかった。

・目標としている大学の生活やそこまでの過程を詳しく聞くことができ、とてもいい機会になった。